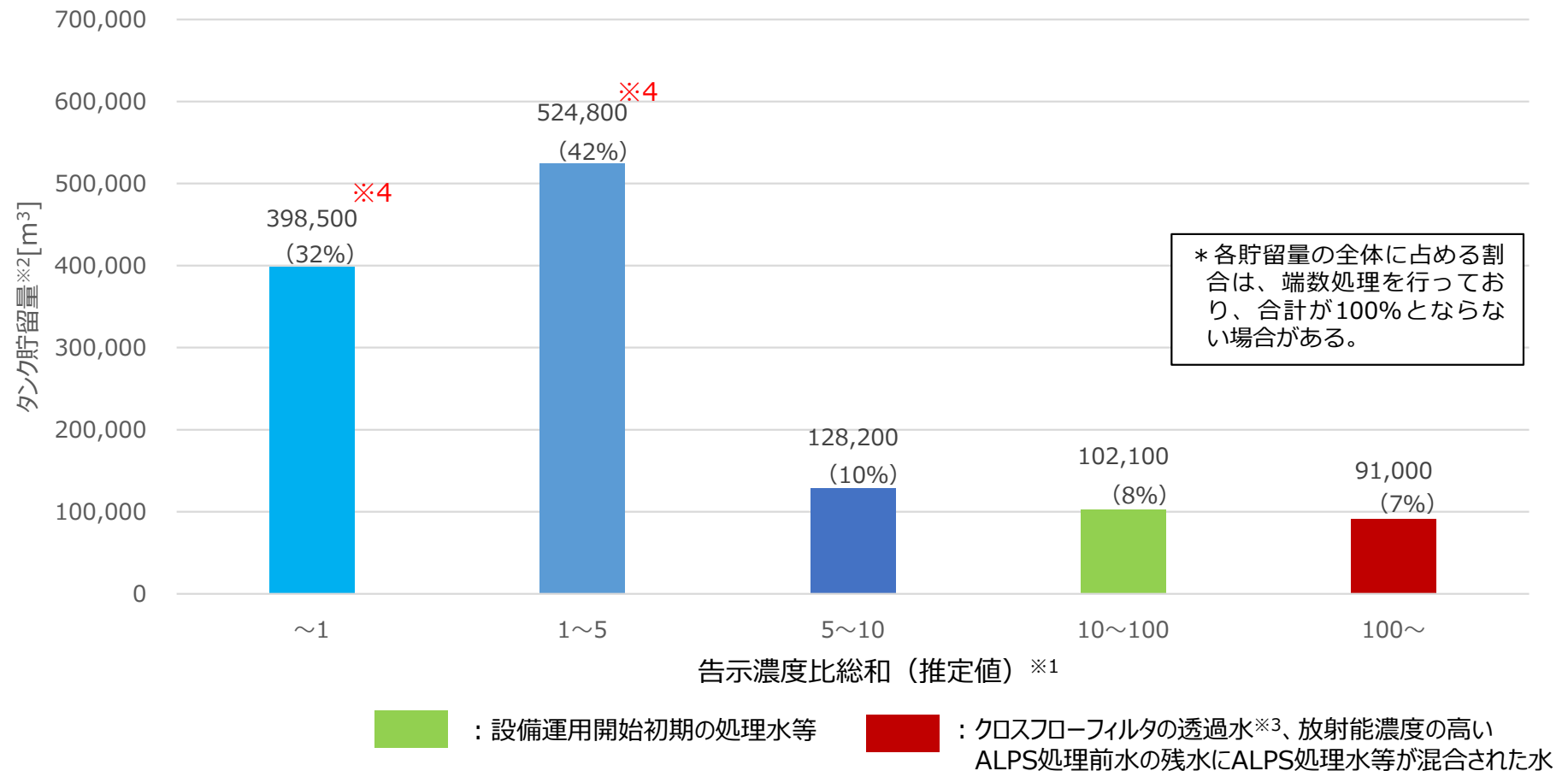


ALPS処理水等の告示濃度比総和(推定値)毎の貯留量 (2026年3月末時点) **TEPCO**



※1 主要7核種（Cs-134,Cs-137,Sr-90,I-129,Co-60,Sb-125,Ru-106）の分析値から算出した告示濃度比にC-14の最大値（0.11）または分析値およびその他核種の合計を0.3と推定したものを加えた、保守的な値。一部のタンクについては主要7核種の分析値から算出した告示濃度比に、C-14の最大値（0.11）または分析値、およびその他核種の分析値（タンク群毎に個々のタンクから採水し、それらを混合した試料を分析した値）を加えた値。

※2 タンク貯留量にはALPS処理前水等を貯留していたタンクをALPS処理水等貯留タンクとして再利用したものも含む

※3 2013年度に発生した既設ALPSのクロスフローフィルタの不具合により、炭酸塩沈殿処理のスラリーが設備出口に透過した事象

※4 ALPS処理水放出のため、～1倍：5,800m³減少。濃縮廃液の試験的先行処理水受入のため、1～5倍：700m³増加。